



2015—2016

# KAWANOE WEEKLY

H. 28. 1. 19

No. 25



バラ 油彩 谷 晶子



世界へのプレゼントになろう

2015—2016年度国際ロータリー会長  
ラビンドラン

- 会 長 大 西 宣 弘
- 幹 事 尾 藤 淳 一
- 会報委員長 三 木 秀 二
- 例 会 日 毎週火曜日  
12:10~13:10
- 例 会 場 四国中央商工会議所  
電 話 58-3530  
F A X 58-6294
- 事 務 局 四国中央商工会議所  
電 話 58-3530

## 「箱根駅伝におもう」

濱 口 俊 樹

青山学院大学の圧倒的完全制覇による2年連続優勝で幕を閉じた、第92回箱根駅伝。1977年大会以来、39年ぶりに1区から一度もトップを譲らないという快挙は、昨年にも増して強さが際立つ結果となりました。

では、駅伝でまだまだ新参者といわれる青山学院大学チームは何故これほどまでに強くなったのか、もう一度整理してみたいと思います。

やはり、監督の采配が挙げられます。「重い玉を転がすイメージ」で「一旦転がったらあとは楽」と言い切った原監督は基礎を作りあとは選手を楽しませることに専念されているというのは今では知らない人のほうが少ないでしょう。このリラックスした感じが青山学院大学の校風（よい意味で）とマッチし、この監督と大学のイメージと学生の三位一体感が結んだ結果だと思われます。

他にも、この名監督の所謂「魔法のこぼれ」は幾多も取り沙汰されていますが、駅伝観戦のときの特徴的な光景として、選手が走っているあとに管理者（監督）が追走する場合、クルマのスピーカーを通じてハッパと言うよりも、厳しい言葉のシャワーで選手を鼓舞（と言うよりも、プレッシャー

みどりと自然を大切に

?)するシーンが依然として多いなか、やはりひと味もふた味も違うように感じます。特に、連覇から一夜明けた翌日の提言は、「箱根駅伝大改革案」として賛否両論はありそうですが、個人的にはとてもユニークで、時代にマッチした発想だと思います。

過去には、東洋大学の酒井監督の名言もありました、「一秒を搾り出せ!」。極限状態をさらに上回る究極のひとつことであり、アスリートでなくてもこの世界の厳しさが理解できる凝縮表現で、まさに名言です。しかし、1位を取らないといけない伝統校の義務感は、選手一人ひとりに一般人の想像を超えるプレッシャーがかかるうえに、結果1位以外では悲壮感すら漂っています。一方、この連続優勝の前までは、青山学院大学チームも5位や7位に甘んじていました。(それでも凄いことですが…)その時でも、確か彼らは全員がとにかくニコニコしているのです。

さらに原監督は続けます。「チームは宝塚劇団と同じで、舞台の上では着飾っていますが、その裏では泥臭いことをしている。」と。選手のコメントも印象的です。「私たちはよく軽いように見られますが、本当は、規律や礼節には他チームに負けないぐらい厳しいんです。」「また、本来なら下級生がするべきような雑用でも、上級生も積極的に分担します。」こんなチームだから、優勝ではなく5位や7位のときでも全員がニコニコしていられたし、更に力をつけることができたのでしょうか。

がんじがらめに管理し、先輩や監督、先生のやりかたをきっちり踏襲するスタイルは日本の伝承の基本でした。しかし、70億人の人間は全て違うDNAを持っています。そしてその基本スタイルは私たちが住む土壌、国や社会、文化、歴史、宗教などあらゆる環境をベースに後天的なインプットが行われます。とするならば、新たなる伝承とは基本を踏まえながらあとは後天的な才能を引き出し、新たなる色や道を創造することも大事でしょう。自由に放たれながらもチームの結束力と明白な目標を、そして作り上げられた基礎の力を信じながら努力すれば成し遂げられるということなのでしょう。

兎にも角にも、箱根駅伝は毎年、とても大切なエキスを注入してくれます。

# 第2637回 例会記録 H. 28. 1. 12

## 出席報告

1. 出席会員（51名中） 40名
2. 来賓  
（卓話講師）  
笑いヨガサポーター 松江 亨 様  
（米山奨学生） 洪 政洙 君
3. 当日出席率 78.43%
4. 前々回補足修正率 92.16%

## 出席表彰（1月）

- ・佐々木敬史 会員（23年）
- ・鈴木 宣弘 会員（22年）
- ・坂 宗尚 会員（20年）
- ・寺井隆仁郎 会員（20年）
- ・山川浩一郎 会員（18年）
- ・大西 宣弘 会員（16年）
- ・大西 聖和 会員（15年）
- ・尾藤 淳一 会員（12年）
- ・石川 隆文 会員（9年）

## 会長の時間

- ・奨学金贈呈 米山奨学生 洪 政洙 君
- ・12/23 開催ゴルフコンペ優勝者表彰  
優勝者 井上 由文 会員

## 委員長の時間

- ・「友」1月号 要点紹介  
雑誌委員 毛利泰治郎 会員
- ・出席報告 出席委員長 石川 隆文 会員

## 会務報告

1. 第2670地区ガバナー事務所  
国際ロータリー世界大会（ソウル）ツアー  
の2次募集ご案内（残りわずか）
2. 地区ロータリー財団事務所  
ロータリー財団事務所のメールアドレス統  
合のお知らせ
3. 2016年1月 近隣クラブ例会のお知らせ  
（出席委員会）

## 1月5日回覧文

1. 年賀状
  - ・陸前高田ロータリークラブ 伊東 孝 様
  - ・株式会社オクトン
  - ・公益財団法人愛媛県体育協会
  - ・四国中央警察署
  - ・四国中央地区防犯協会
  - ・有限会社即今
  - ・有限会社島津寿司
  - ・A I U損害保険株式会社 高松支店
2. ザ・ロータリアン2016年1月号
3. 国際ロータリー日本事務局 経理室  
2016年1月ロータリーレポートのお知らせ  
（1ドル=120円）
4. 2016年1月 近隣クラブ例会のお知らせ  
（出席委員会）

## ニコニコニュース

大西宣…暖冬ではありますが、少しずつ寒くなりそうです。年始の出張などお忙しい中、皆様におかれましては、風邪などひかぬよう十分気を付けて下さい。

尾 藤…次女が成人式を迎えました。本来なら親の役目は終わり、肩の荷が軽くならなくてはならないのに、一向にその気配は、ありません。

谷 …12月23日天皇誕生日に第3回ゴルフコンペと忘年会を開催させて頂き、心配していた雨にも降られず、忘年会も盛り上がり、幹事としてほっと致しております。ご参加頂いた皆様、大変有難うございました。次回は3月を予定致しておりますが後半戦の予定は来週ご案内させて頂きます。

佐々木…①23年の出席表彰を戴きました。「アッ」という間です。

②川之江クラブの増強にはなかなか協力が出来ておりません。申し訳ありません。数年前から、同窓会で会った旧友に入会を勧めております。他エリアとなりますが、入会の方向になりました。

## 卓 話

(国際奉仕委員会 井上 由文 会員担当)  
「笑いヨガ」 松江 亨 氏

### 近隣RCの例会日

- 1月21日(木)新居浜RC  
(リーガ新居浜)
- 1月21日(木)観音寺RC  
(観音寺商工会議所)
- 1月22日(金)伊予三島RC  
(三島商工会館4F)
- 1月26日(火)観音寺東RC  
(観音寺グランドホテル)
- 1月26日(火)新居浜南RC  
(リーガ新居浜)

### 例会プログラム

- 1月26日(火)  
(会員選考委員会 担当)  
定例理事会